

市政改革ニュース



どんどん心筋梗塞になって! 中野市長の「あきれかえる」問題発言、全国に広がる!

新聞各紙に掲載された中野市長の発言「どんどん心筋梗塞になってくたさい」が、恥ずかしいことに全国に知れ渡ってしまった。

市立病院 PRで発言
柏原市長が発言
「どんどん心筋梗塞になってくたさい」
市立病院のPRで、中野市長が発言した「どんどん心筋梗塞になってくたさい」という発言が、新聞各紙に掲載された。この発言は、中野市長の健康状態を心配させるだけでなく、市民の健康に対する責任を問われることになった。

ネットでは、「こんなことを言うヤツがよく市長になれた」と書かれている。

中野市長は7月7日、参院選大阪選挙区に立候補した日本維新の会候補者の演説会で「市民のみならず、どんどん心筋梗塞になってくたさい。1回の手術で病院に250万円入ります」と発言、新聞各紙に取り上げられてしまった。

ネット上では、「市長として不適格な人物だろう。命を失う重いネット上では、以下サイト参照
http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q102608111

250万円は、我々が払った税金から出ている

また、「この250万円は誰の金なんだよ。予防する方が社会的負担が少ないだろうに。病院が潤っても社会は疲弊してもいいと取れるぞ」という書き込みもあった。

その通りである。病院に入る250万とい

うお金、これは医療費として、我々が汗水たして働いて、市民として国民として納税したお金が出所なのである。もちろん、病気の人を救うためには適切な医療は必要である。大切なものはほとんど病院に入る250万とい

維新のびず、負けたのか?

日本維新の会の橋下徹共同代表「勝ちではない」「トツツの責任」と...

維新の会代表橋下氏は、2月の柏原市長選では、「体調・変態」教師と言われた現中野市長を「週刊文春」を「そ」とまで言っていて、中野氏を公認し、維新総

揚げで応援し当選させた。その後、宝塚市、

気になるのではなく、ならないように予防することである。予防することで、人々は痛い思いをして体を切り刻むことになる。

むというムダな治療をせずにすむ上、膨大な医療費をおさえることができる。

市立柏原病院の多額の累積赤字は、市の財政を圧迫している!

市立柏原病院の経営は赤字が続いている。人口が7万3000人という小さい市に必要かどうか、抜本的に考えるべきである。毎年、この赤字を埋めるために、柏原市の税金が年

間10億円以上補填されている。市民病院を維持するためには身を削るほど、この改革が必要ではないかと思う。

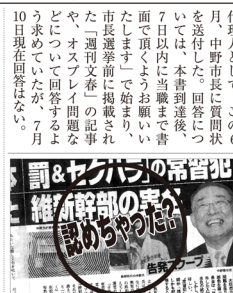
このムダに使われた税金は、明日の柏原を担う子供たちのために、小中学校のクラーゲ置やトイレの改装に使えたのではないかと、市長に対して、こんな言葉も浴びせられている。

「お笑い芸人出身なんですか?」
「漫談じゃないんだよ。」

伊丹市で惨敗、都議選においても惨敗であった。橋下代表の「慰安婦・オスブレイ」発言などが下げて維新の支持率が下がったと思える。ツイッターに「女子中学生が恐怖によって失禁するほど怒鳴り

あげ、青たん生じるほど男子中学生を殴り倒し、果は「やらせ」と女子中学生に性交渉をした。女子中学生に性交渉をした元教師が、柏原市長である維新の会所属議員・中野隆司と言

自分の政党に所属させている橋下徹である。中野市長は、とうとうこの内容を認めたのである。



1 週刊文春掲載記事より
① 週刊文春平成23年3月31日号に、真面目に調べて、下記の情報が掲載された。これは事実である。
② 元同僚の語りとして、学芸者中野あやこが、中野市長が女学生を学校中に悪く罵るのを聞き取ったことが、後本人は「あつこちゃん、聞き取ったわ、女学生を悪く罵ることを自慢していました」と話している。

中野市長よ、とうとうこの内容を認めたのか。